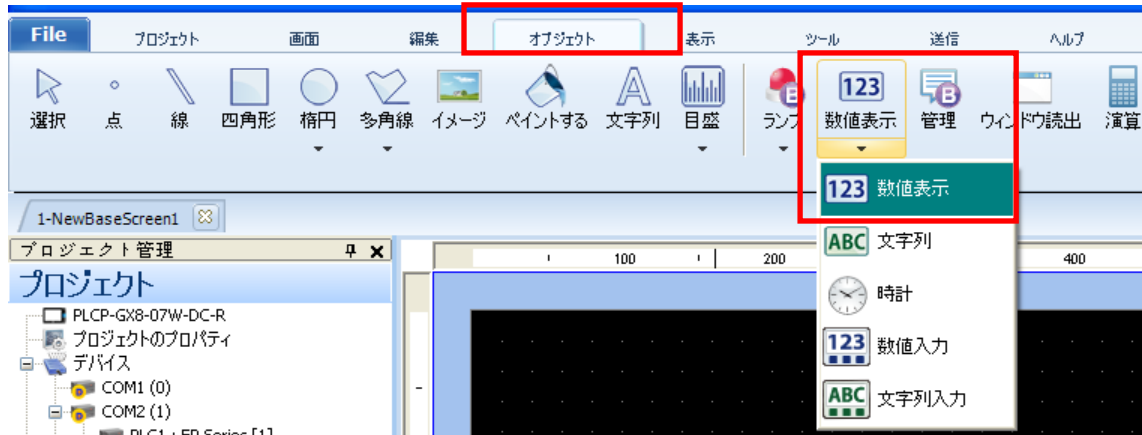


数値表示部品の設定(小数点、数値範囲の設定、キーボード変更)

(例) 接続先の PLC をパナソニック FP シリーズとしています。

1. 数値表示部品の設定

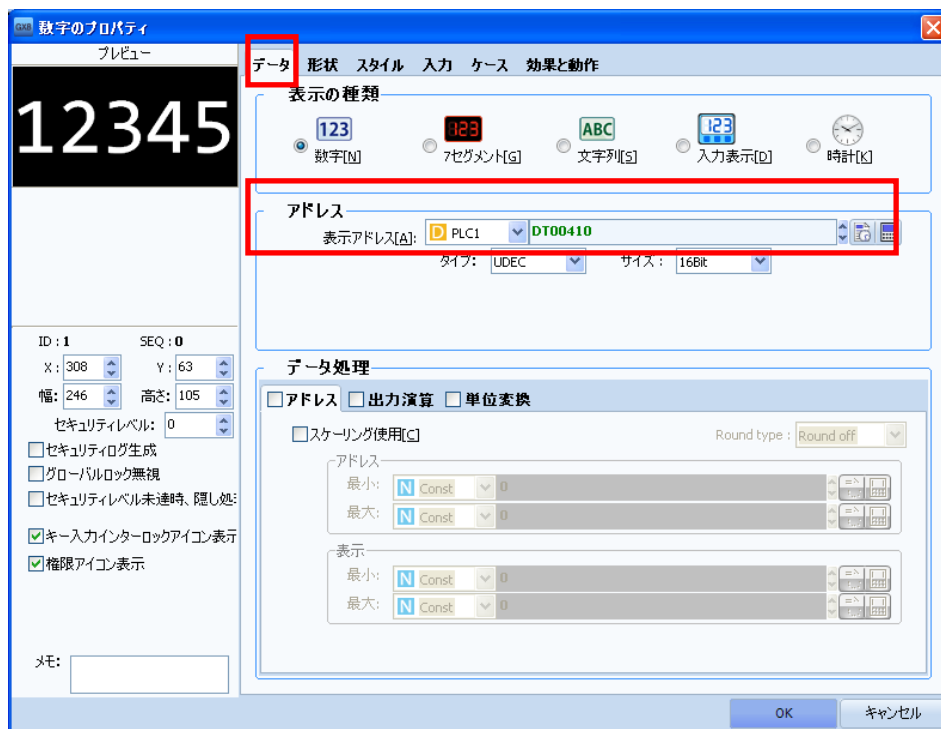
[オブジェクト]タブに表示を切り替え、[数値表示]ー[数値表示]をクリックします。



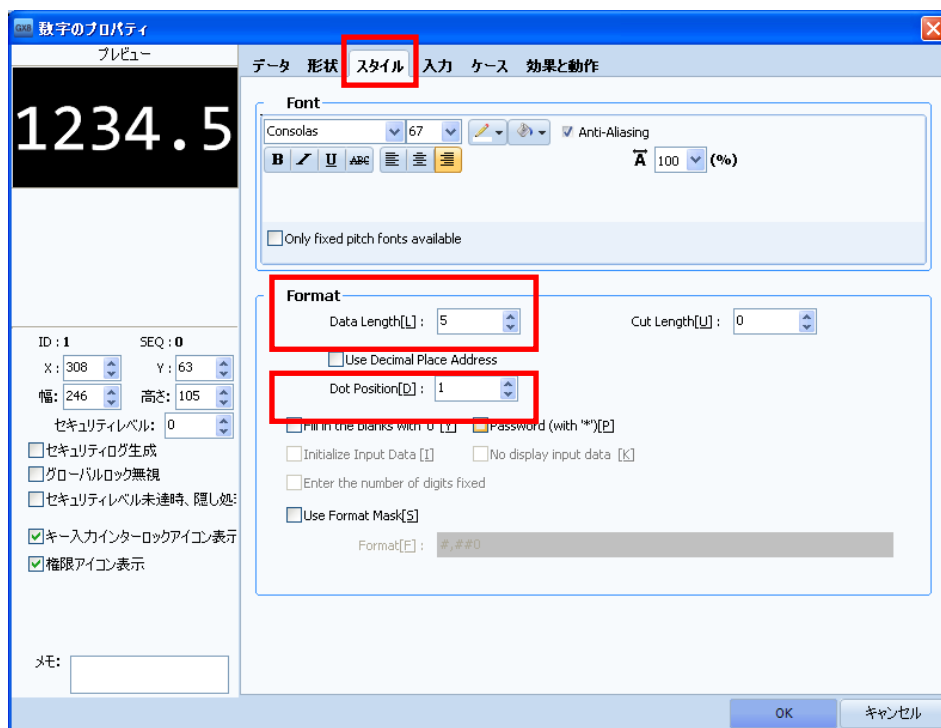
[数値表示]部品をダブルクリックし、[数字のプロパティ]画面を開きます。



[データ]タブで数値表示アドレスを設定します。



[スタイル]タブで表示桁や小数点位置の設定ができます。

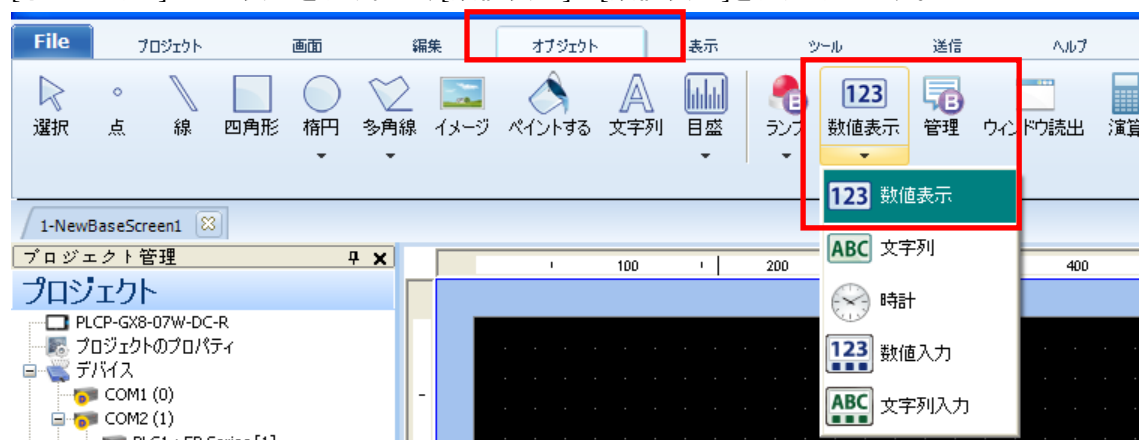


Data Length: 表示桁数

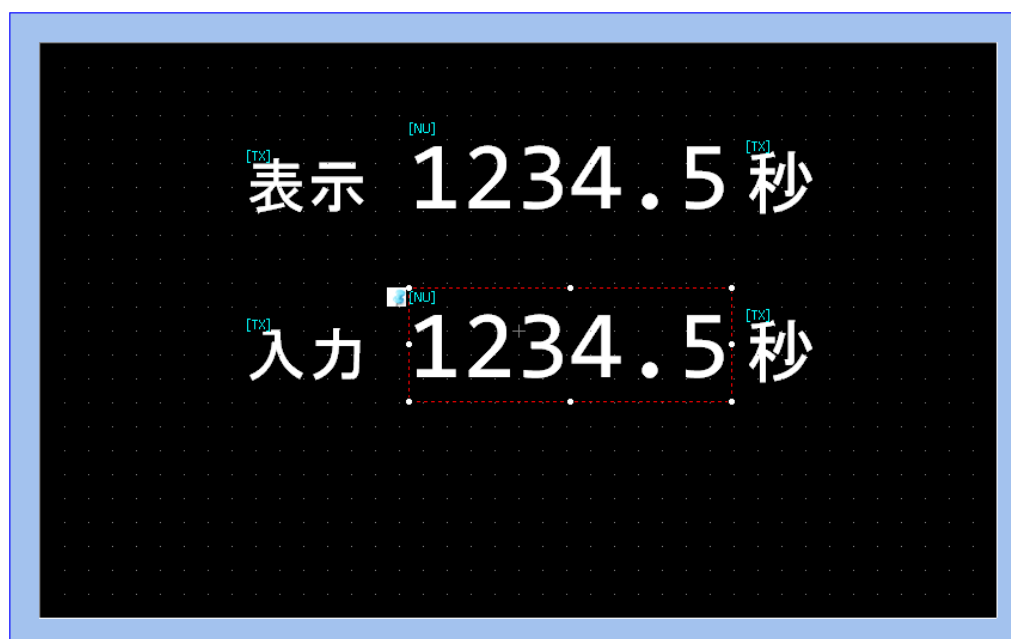
Dot Position: 小数点の位置

2. 数値入力部品の設定

[オブジェクト]タブに表示を切り替え、[数値表示]―[数値表示]をクリックします。



[数値表示]部品をダブルクリックし、[数字のプロパティ]画面を開きます。



[データ]タブで数値入力アドレスを設定します。

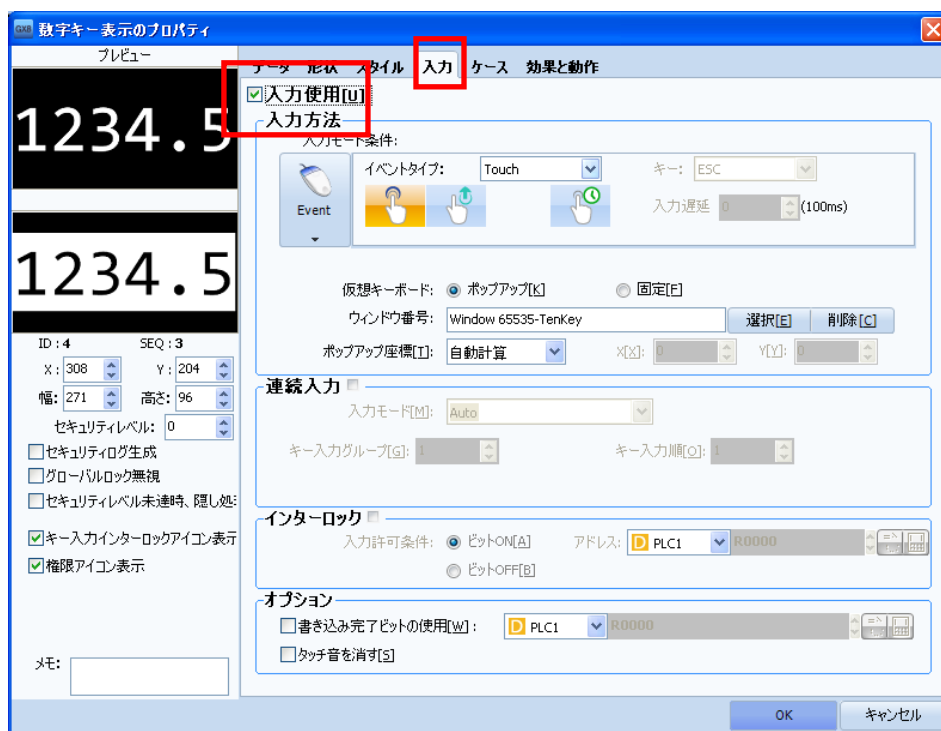


[入力制限]タブで[入力範囲]を設定します。

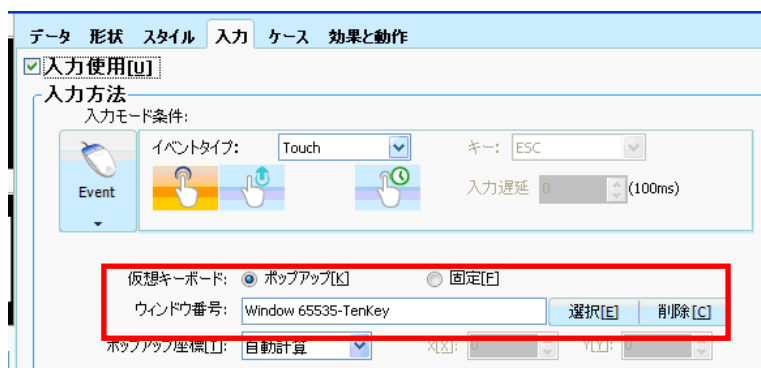
☒ N Const を選ぶと定数が設定できます。



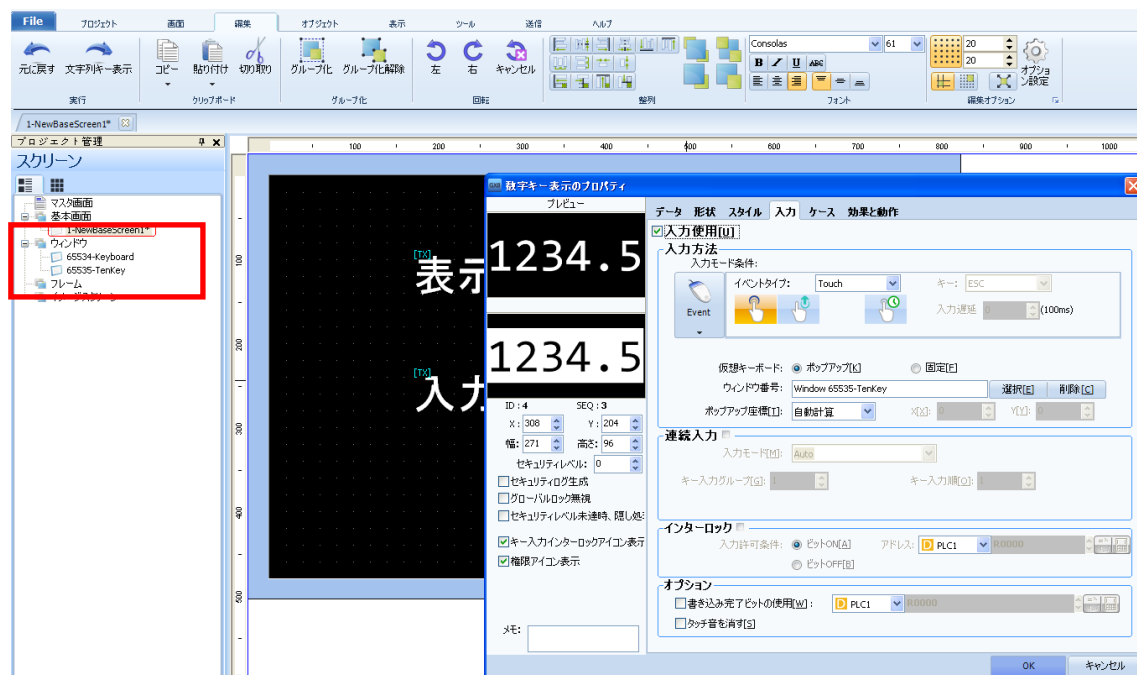
[入力]タブで「入力使用」にチェックを入れます。



数値入力時にポップアップされる[仮想キーボード]を設定します。



仮想キーボードは、あらかじめ2種類ご用意しております。



Window 65535-TenKey



Window 65534-Keybord

